



住所 〒261-0012 千葉県千葉市美浜区磯辺3-31-1

TEL 043-277-7711

● 病院の概要



病床数	一般… 293 床	療養… 0 床	結核… 0 床	精神… 0 床	感染… 0 床
1日平均外来患者数	494 人	医師数(常勤)	89 人		
1日平均入院患者数	186 人	指導医数(再掲)	41 人		

● 妊娠・出産・子育て中の勤務環境

■ 妊娠出産	■ 育児	■ 子育て
当直免除 ※ 時間外勤務免除 ※ 短時間勤務制度 ※	当直免除 ※ 時間外勤務免除 ○ 短時間勤務制度 ○	院内保育園 ○ 院内学童保育 ○

[※]は「診療科による」等の条件あり、「○」は制度なし

● 臨床研修

■ 2025年度研修受入数	1年目 7名	2年目 8名
■ 処遇 ①基本給 (2025年度)	1年目 396,607 円/月	2年目 408,057 円/月
②賞与・手当	賞与2回/年、通勤手当	
③当直	回数 数回/月	当直料 14,950 円/月
④休暇	年次有給休暇(10月以降):1年次10日・2年次11日、夏季、年末年始	
⑤保険適用	千葉県市町村共済組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険法適用、雇用保険	
⑥宿舎	独身者用職員宿舎あり、ただし負担金あり	
■ 出願期間(予定)	2026年6月	～ 定員に達するまで

【臨床研修の特徴】

当院には医師臨床研修と産科・小児科の2つのプログラムがあります。医師臨床研修プログラムは1年次に必修科(内科、小児科、産婦人科、外科、救急科、麻酔科)を、2年次に地域医療を5週間、精神科を4週間研修し、残りの約40週が自由選択科の期間に割り当てられる自由度の高いプログラムです。産科・小児科プログラムは2年次に新生児科4週と希望科(小児科または産婦人科を選択)16週を必修とし、自由選択科の期間は約20週となります。いずれのプログラムも周産期から高齢者まで救急患者の初期対応が数多く経験でき、内科、小児科、救急科の研修を通して全身を診る力がつきます。チーム医療の一員として活躍します。協力型病院は千葉市立青葉病院、千葉県総合救急災害医療センター(三次救急)、東京女子医科大学附属八千代医療センター(小児科)、医療法人同和会千葉病院(精神科)、沖縄県立宮古病院となります。病院見学は随時受け付けています。

【病院の特徴】

293床の地域に根差した病院です。夜間は千葉市医師会とともに、千葉市夜間応急診療を運用し、内科と外科は二次輪番病院として責務を果たしています。救急科は積極的に救急患者を受け入れています。地域小児科センター及び地域周産期母子医療センターとして、常時小児と周産期の二次医療を提供しています。地域がん診療連携協力病院と地域災害拠点病院の機能も有します。2026年秋には幕張新都心の一角に新病院が開設される予定です。

【プログラム責任者・指導医からのメッセージ】

初期研修医は研修プログラムを通じて、地域医療を担う医師としての基本を学びます。プログラムは多様なキャリア形成に対応した医師臨床研修プログラム(基幹型)と小児・周産期の医師を目指す方向への産科・小児科プログラムがあります。自身が医療を通して、将来どのように社会貢献するか決意できるような指導いたします。専門研修は小児科、内科、救急科、外科の基幹施設です。

【先輩研修医からのメッセージ】

海浜病院を選んだ理由を3つお話しさせていただきます。①小児科や周産科の充実の高さ。小児科の中でも専門は多様で、基礎から専門的な知識まで幅広く教えていただき手技をはじめ非常に多くのことを経験させてもらえます。②研修科選択の自由度が高い。選択の際は親身に相談に乗ってください、納得のいくプログラムで研修することができると思います。③雰囲気の良さ。指導医の先生や看護師、メディカルスタッフの方との関係は、アットホームでありながら、距離が近すぎることなく研修医に無理強いをしたりすることはありません。実習や卒業試験・国家試験の勉強と忙しいかと思いますが、多くの病院へ実際に見学に行ってみてください。そして、その中に海浜病院が含まれていたらとても嬉しいです。ぜひお待ちしております。

● 専門研修

■ 基幹となっている基本領域	内科 ○ 小児 ○ 皮膚 ○ 精神 ○ 外科 ○ 整形 ○ 産婦 ○ 眼科 ○ 耳鼻 ○ 泌尿 ○ 脳外 ○ 放射 ○ 麻酔 ○ 病理 ○ 臨検 ○ 救急 ○ 形成 ○ リハ ○ 総診 ○
■ 処遇 ①給与モデル(5年目参考・当直料等込) (2025年度)	約 900,000 円/月
②休日休暇	土日祝日、夏季、年末年始、年次有給休暇(10月以降)、特別休暇(産育休等)
③保険適用	千葉県市町村共済組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険法適用、雇用保険
④宿舎	独身者用職員宿舎あり、ただし負担金あり
■ 連携・関連施設となっている基本領域	内科 ○ 小児 ○ 皮膚 ○ 精神 ○ 外科 ○ 整形 ○ 産婦 ○ 眼科 ○ 耳鼻 ○ 泌尿 ○ 脳外 ○ 放射 ○ 麻酔 ○ 病理 ○ 臨検 ○ 救急 ○ 形成 ○ リハ ○ 総診 ○

【専門研修の特徴】

小児科:小児科と周産期母子医療のセンターである当院で、小児・新生児診療の基本を学びます。特に小児救急疾患は内因系・外因系を問わず幅広く経験できます。連携施設と関連施設も充実しています。

内科:総合内科専門医の基幹施設であるとともに「病院総合医」「総合診療医」の育成も行なっています。循環器・消化器の専門治療(PCI、ペースメーカー、IABP、ECMO、緊急消化管止血、ERCP、消化器癌ESD)まで幅広く対応しています。

外科:当院と連携施設で、消化器外科(肝・胆・膵・食道・胃・小腸・大腸・肛門)、乳腺外科、心臓血管外科、小児外科、呼吸器外科を研修し、外科専門医の基本手術手技と知識が習得できます。

救急科:二次救急施設として科を問わず多数の救急車を受け入れています。救急専門医5名、集中治療専門医4名と指導医が豊富で、千葉大学など様々な連携施設にて当院で経験できない症例も経験可能です。